



4 17 災害時の消防活動協力に関する協定を締結



左から秋山支部長・大部市長



火災や災害発生時の消防活動において、消防本部が茨城県建設業協会の協力を得て、重機などを円滑に調達・使用できる体制をつくるため、同協会高萩支部と市は「災害時における消防活動の協力に関する細目協定」を締結しました。

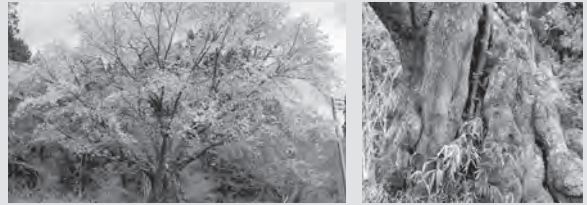
給食センター職員が小中学校に手作りマスクを贈りました

給食センターでは学校の臨時休校措置に伴う給食休止期間中、調理員や配膳員28人が入手困難となっているマスクを製作しました。マスクは小学校低・中・高学年用と中学生用の4種類、合わせて2,000枚を製作しました。手作りマスクは、学校の再開に合わせて市内の全小中学校に届けました。



宮澤桜が今年もきれいに咲きました

上君田生活改善センターの敷地内に咲く「宮澤桜」は樹齢約250年・樹高約15m・幹回り約5mと風格あるヤマザクラ。同地域の人や地元出身者などで組織する桜を守る会「桜賞会」のみなさんが維持管理し、今年もきれいな花を咲かせました。たくさん枝が一体となってくびれたような太い幹はまさに圧巻です。



(撮影日4月22日)

宮澤桜の幹



健康をつくるう!



県北医療センター
高萩協同病院
看護師
わたなべ めぐみ
渡辺 恵

皆さんこんにちは。私は普段、手術室で勤務をしながら院内の感染管理を担当しています。

皆さんは咳やくしゃみでどれくらいのウイルスを排出するかご存知でしょうか？風邪などでは1回の咳で約10

万個、くしゃみでは約200万個のウイルスを排出すると言われています。

咳やくしゃみをする際に手で鼻や口を覆っていませんか？無意識にマスクの表面に触れていることはありませんか？

その手には目に見えないたくさんの菌やウイルスが付着しています。その汚染された手で目や鼻、口の周りに触れることで体内に菌やウイルスが入って感染が起こります。

そこで今回は感染対策の基本である手をキレイにする方法についてお話ししたいと思います。

まずは石鹸と流水による手洗いです。もう一つは擦式手指消毒剤による手指衛生があります。違いは目に見える汚れがある時には石鹸と流水による手洗いが必要になり、明らかな汚れがないときには擦式手指消毒剤を用います。

どちらもトイレ後、帰宅後、調理前、食事前など適切なタイミングで行うことが大切です。自分自身の身を守ることはもちろん、大切な家族や身近な方を守るためにも手をキレイにする習慣を身につけていきましょう。